

平成 29 年度岩手県立大学公開講座・滝沢キャンパス講座 概要集

No.	月日	時間	テーマ等
1	7/22 (土)	13:15 ～ 14:30 (開講式の 進行によっ ては開始が 若干早まる 場合があります)	<p>【講義テーマ】地域住民の食と健康への衛生・公衆衛生的挑戦 ～その1 陰膳実測法による食事からの微量元素・ミネラル摂取量の研究～</p> <p>【講師】盛岡短期大学部 教授 千葉 啓子</p> <p>【概要】本研究では、飲食物から摂取される必須元素や微量元素・ミネラルの栄養評価や健康影響を詳細に検討するために、食事そのものからの実測が可能な「陰膳実測法」を手法に取り入れ、人が1日に摂取する水や飲料を含む食事すべてを収集し、その中に含まれる元素類の分析を行っています。今回はこの「陰膳実測法」を用いた岩手県内での食事調査を紹介し、地域の特徴的な食習慣と元素摂取の実態、健康との関連等について、衛生・公衆衛生的アプローチを展開します。</p>
2		15:00 ～ 16:15	<p>【講義テーマ】さんりく沿岸の復興計画の3Dモデル化とその応用</p> <p>【講師】ソフトウェア情報学部 教授 土井 章男</p> <p>【概要】最新の3D計測技術（ドローンによる空撮、地上レーザ計測、写真からの点群生成、点群から3Dモデル化）を用いて、さんりく沿岸の復興計画を分かりやすく3Dモデル化する手法やその応用例（宮古市田老地区・鍬ヶ崎地区の住民説明会や都市計画支援）を紹介します。最近では、「3月のライオン」で有名になった盛岡市南昌荘を計測し、情報発信や観光地PR、文化財のデジタル保存を行っています。</p>
3	7/29 (土)	10:30 ～ 11:45	<p>【講義テーマ】地域包括ケアシステムにおける住民の主体的活動をどのように促進していくか ～”3つの場”と活動の”見える化”を意識して～</p> <p>【講師】社会福祉学部 准教授 佐藤 哲郎</p> <p>【概要】現在、国では地域を基盤に公的な福祉サービスの提供や住民による支えあい等の活動を展開しようとする、いわゆる「地域包括ケアシステム」の実現を目指しています。その一方で、自由かつ多様な住民活動は、公的システムにはなじみにくいとの指摘もなされています。そこで本講座では、地域包括ケアシステムの実現のために、住民活動の促進に重要となる、“3つの場”と活動の“見える化”について事例を紹介しながらお伝えします。</p>
4		13:00 ～ 14:15	<p>【講義テーマ】看護学におけるリプロダクティブ・ヘルスケア ～児童養護施設の思春期女子を対象にした個別ケアの実際～</p> <p>【講師】看護学部 教授 福島 裕子</p> <p>【概要】リプロダクティブ・ヘルスは「性と生殖の健康」のことです。児童虐待や性暴力などの被害を受けた女性は、基本的身体感覚が乏しく、早期の性行動や予期せぬ妊娠、ドメスティック・バイオレンス（DV）など、性の健康問題を被るリスクが高いと言われています。この講義では、私が実践してきた児童養護施設の思春期女子への性と生殖の個別ケアを紹介し、女性が女性である自分を大切に、未来に向けて“性の自己決定”ができるための支援を、看護学の立場から考えます。</p>
5		14:45 ～ 16:00	<p>【講義テーマ】IoTで変わる私たちの社会 ～IoTとは何なのか、IoTにより私たちは何をすべきなのか～</p> <p>【講師】総合政策学部 准教授 近藤 信一</p> <p>【概要】近年、「IoT」（モノのインターネット、Internet of Things）や「第4次産業革命」という言葉が、新聞やニュースに頻繁に出てきます。これらにより私たちの社会、私たちの生活は大きく変化するといわれています。しかし、技術的な解説や紹介が多いのが現状です。そこで本講義では、経営学を専門とする講師が、IoTにより、私たちの社会や生活が、なぜ変化し、どのように変化し、どう対応していくべきなのか、分かりやすく解説します。</p>

※当日の講義においては、内容を若干変更する場合があります。御了承ください。

No.	月日	時間	テーマ等
6	8/5 (土)	13:00 ～ 14:15	<p>【講義テーマ】企業が開示する情報を読み解くヒント ～持続可能な社会を支えるための情報理解力～</p> <p>【講師】宮古短期大学部 講師 齋藤 香織</p> <p>【概要】近年、企業の経営状況が私たちの生活に大きな影響を及ぼす事例が増えてきています。企業経営は地域経済や雇用だけでなく、私たちの生活や将来的な保障である年金にも影響を及ぼす可能性があるのです。今回は年金資金の株式運用をめぐる情報開示の動向を例として、私たちは企業が開示するさまざまな情報をどのように読み解く必要があるのか、また、正しく理解するためには何が求められているのか考えていきたいと思います。</p>
7		14:45 ～ 16:00	<p>【講義テーマ】岩手県における国際交流の現状とこれから ～市町村と岩手県立大学の取り組み～</p> <p>【講師】高等教育推進センター 教授 佐藤 智子</p> <p>【概要】これまで岩手県の少なからぬ市町村は、姉妹都市交流という形で外国の都市との国際交流を行ってきました。その実績は、東日本大震災時にほとんどの自治体が相手の都市から何らかの支援を受けたことで評価できます。一方、姉妹都市交流のマンネリ化、財源・担い手不足等の声も聞かれます。講義では、交流の現状を分析し、問題解決型交流を行っている自治体を紹介します。また、岩手県立大学で2014年から始まった学生のポストン研修を説明し、グローバル化に対応した人材育成にはどのような視点が必要かを考えます。</p>